大阪城

2021 3/1 (月) 14145号

全港湾 西成分会

ジャ 6647-4947

3月の声を聞き、春にむかっている。コロナのせいで、華やぐ浮いた話は少ない。菅政権も半年がたとうとしている。

「安倍家の生ゴミのフタ」とか酷評されていたが、半年、日本国の権力者の役回りをやってみて、どうなんだろうか。

3/25(木)の福島からの聖火リレーはやるようだから、オリンピックも強行突破の作戦なのだろうか。ワクチンを打つからコロナはだいじょうぶだとの理屈で、ウイルスとの戦いはいけるとの判断に見える。玄人筋の評論家の読みでは、総選挙は10/17(日)だとか、言ってる人も出てきた。45年ほど前の三木政権にたとえながら党内無派閥の菅政権はギリギリまで任期をやり、目玉のデジタル庁をつくり上げてから、勝負する人だと、分析している。どうだろうか。

となりのバイデンは、約200兆円の予算をきめ、一人15万円ほどを(すでに18万円くばっている上に)支給すると決定した。それらもあり、アメリカの金利が上り、そして、日本の株式が下落したり、経済の流動化が始っている。大きな転換期に入った。

今日から3月、春

緊急事態宣言、首都圏の一都三県を除いて、近畿二府一県、中京の愛知岐阜、福岡の六の地方自治体での宣言解除になりました。ワクチン接種のスケジュールも遅延して不確定のようで、コロナ克服の「切り札」としてもまだまだ紆余曲折がありそうです。感染症専門家の多くが自粛の反動のリバウンドを心配していますが、うまくのりこえられるでしょうか？

関西3府県新型コロナ緊急事態宣言昨日解除

大阪、兵庫、京都の関西３府県への緊急事態宣言について、国は、28日で解除することを決めました。３府県では、解除後の感染の再拡大を防ぐため営業時間の短縮要請などの措置については、段階的な緩和を決めるなど、引き続き、感染防止対策の徹底を呼びかけています。

時短要請などの措置は段階的に緩和

これを受けて、大阪府は26日夜、対策本部会議を開き、府内の飲食店などへの営業時間の短縮要請は、繁華街が集中する大阪市内の店舗に限定したうえで、来月１日から21日までの３週間、営業時間は午後９時まで、酒類の提供は午後８時半までとするよう、改めて要請することを決めました。

また、府民には、飲み会や宴会は４人以下としたうえで、食事中に会話をする時にはマスクの着用を徹底すること、歓送迎会や謝恩会、宴会を伴う花見などは控えることなどを呼びかける方針です。

３府県では、大阪府の吉村知事が「リバウンドを起こさせないためにも、命を守り、感染を抑えるため引き続きのご協力をお願いしたい」と述べた。ＮＨＫニュース